

解説

1 「学びのツボ」を参考に、身の回りの書籍や広告にどのような活字が使われているかを調べ、それがどのような効果や印象を与えているかを考えてみる。3 例外として例えば、「成」の「戈」の部分は、筆を選びやすいような筆順で書く。4 (1)「己」

① 漢字道場 — 1 活字と書き文字・画数・筆順

4 次の漢字は()の画数で書きます。□に実際に字を書いて、画数を確かめなさい。

| | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| (1) 己(三) | 己 | (2) 母(五) | 母 |
| (3) 机(六) | 机 | (4) 考(七) | 考 |
| (5) 卵(七) | 卵 | (6) 郡(十) | 郡 |
| (7) 強(十二) | 強 | (8) 極(十二) | 極 |

- 3 筆順の原則について、次の()に当てはまる言葉を書きなさい。
- (1) (上) から下へ書く。
 - (2) 左から (右) へ書く。
 - (3) 中から (左右) へ書く。
 - (4) (外) 側から (内) 側へ書く。
 - (5) 文字全体を貫く縦画や横画は (最後) に書く。

- 1 次の説明に当てはまる活字の種類を後から選び、記号を書きなさい。
- (1) 見出しなどによく使われる活字。 (イ)
 - (2) 書き文字の筆遣いや形を参考にした活字。 (ウ)
 - (3) 一般の印刷物で最もよく見られる活字。 (ア)
- ア 明朝体 イ ゴシック体 ウ 教科書体

漢字道場 — 1 活字と書き文字・画数・筆順

活字と書き文字・画数・筆順

活字 次の漢字をなぞり、漢字の右側に読み仮名を書こう。

(★新活字 ●新活字類・伝来の活字)

之の女 筆遣い 生 写道 筆製品 耳じ 鼻科 州 入荷

違 傍線 克己 机上 卵 黄 虹

玄関 外科

① 漢字道場

原則として、例外もあるよ。



- 5 傍線部の漢字の画数を、算用数字で書きなさい。
- (1) 急いで身を隠す。
 - (2) 彼の話に違和感を抱く。
 - (3) 静けさを乱す者は皆無だ。
 - (4) 昆虫の知恵に驚く。
 - (5) 火の取り扱いに注意する。
 - (6) 飛行機が離陸する。

| | | | | | |
|----|---|----|---|----|----|
| 18 | 6 | 22 | 9 | 13 | 14 |
|----|---|----|---|----|----|

6 次の漢字について、黒い色で示した部分は何画目に書きますか。算用数字で書きなさい。

| | | | |
|-------|---|-------|---|
| (1) 快 | 3 | (2) 臣 | 4 |
| (3) 飛 | 6 | (4) 吸 | 4 |
| (5) 常 | 1 | (6) 冊 | 5 |
| (7) 区 | 2 | | |

- 2 教科書34ページを参考にして、次の言葉を説明しなさい。
- (1) 画数 (例) 漢字を作る点と線である点画の数。
 - (2) 筆順 (例) 漢字を書くときの筆運びの順序。

活字と書き文字

明朝体などの活字や書き文字とは、筆遣いや形に違いが見られる。左に活字の例を挙げるが、これ以外にもさまざまな種類がある。

【日本語の活字】

明朝体 ……これは活字のサンプルです。
 ゴシック体 ……これは活字のサンプルです。
 ポップ体 ……これは活字のサンプルです。
 教科書体 ……これは活字のサンプルです。
 楷書体 ……これは活字のサンプルです。

実際に書く際にも参考になるのは教科書体である。教科書では、脚注や新出漢字漢字を強調する(リン)、教科書体も多く使用している。



学びのツボ

漢字道場 — 1 活字と書き文字・画数・筆順

活字と書き文字・画数・筆順

活字 次の漢字をなぞり、漢字の右側に読み仮名を書こう。

(★新活字 ●新活字類・伝来の活字)

之の女 筆遣い 生 写道 筆製品 耳じ 鼻科 州 入荷

違 傍線 克己 机上 卵 黄 虹

玄関 外科

- 1 次の説明に当てはまる活字の種類を後から選び、記号を書きなさい。
- (1) 見出しなどによく使われる活字。 (イ)
 - (2) 書き文字の筆遣いや形を参考にした活字。 (ウ)
 - (3) 一般の印刷物で最もよく見られる活字。 (ア)
- ア 明朝体 イ ゴシック体 ウ 教科書体

- 3 筆順の原則について、次の()に当てはまる言葉を書きなさい。
- (1) (上) から下へ書く。
 - (2) 左から (右) へ書く。
 - (3) 中から (左右) へ書く。
 - (4) (外) 側から (内) 側へ書く。
 - (5) 文字全体を貫く縦画や横画は (最後) に書く。

4 次の漢字は()の画数で書きます。□に実際に字を書いて、画数を確かめなさい。

| | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| (1) 己(三) | 己 | (2) 母(五) | 母 |
| (3) 机(六) | 机 | (4) 考(七) | 考 |
| (5) 卵(七) | 卵 | (6) 郡(十) | 郡 |
| (7) 強(十二) | 強 | (8) 極(十二) | 極 |

(2) 「母」(3)「机」のように画の途中で曲がるものに注意する。5 (1)「こぎとくん」や、(2)「しんじょう」のように画数を間違えやすい部首に注意する。6 (2)「かくしがまえ」の筆順に注意。6 (2)原則に従って、文字全体を貫く横画は最後に書く。

解説

1 2 少年の思いは、「もう帰らない、帰らない」(36・5)、「面目を失しないで帰宅するにはどうしたらよかるう」(36・11)、「何とか帰るぞ、帰るもんか」(36・12)と揺れ動いている。

② 読心 (文字→) 飛べ かもめ

1 第一場面から、少年の思いを捉える

誰にも言わずに、家を出てきたのだ。(ア)とありますが、少年はなぜ家を出てきたのですか。次の□に字数の合った言葉を書きなさい。

課外活動の陸上競技に熱中しすぎて、成績がいくら下がってきたのを、母親に言われて、おもしろかったから。

3 かもめが空を飛ぶ

(3) 鳥の運命が次第に落ち、やがて崖から落ちるとき、少年の目に(涙)がにじみ、少年は、次第に降り、(砂浜)を定めて帰ろうと思ふ。(38)ページ(10)行(終わり)

2 場面ごとにあらすじをまとめて、小説の流れを押さえます。

1 主人公の少年は、(1)いつ(2)どこにいますか。次の□に字数の合った言葉を書きなさい。

(1) いつ……冬初めの、とんよりと曇った屋過ぎ

(2) どこ……海沿いに走る鈍行列車の片側の席

2 場面ごとにあらすじをまとめて、小説の流れを押さえます。

1 成績が下がってきたのを、(母親)に言われ、おもしろくない。少年は家を出て、行き当たりばったりの(列車)に乗った。(初め(37)ページ(1)行)

(2) 一羽の(かもめ)が列車と同じ(速度)で飛んでいるのを見つけ、少年は、頭張れと少年を立たせ、(37)ページ(2)行(38)ページ(9)行)

2 読心 (文字→) 飛べ かもめ

思いを捉える 読心 (文字→)

準備する 全文を読み、登場人物やあらすじを簡潔にしよう。

解説

1 2 少年の思いは、「もう帰らない、帰らない」(36・5)、「面目を失しないで帰宅するにはどうしたらよかるう」(36・11)、「何とか帰るぞ、帰るもんか」(36・12)と揺れ動いている。

② 読心 (文字→) 飛べ かもめ

1 第二場面から、少年の思いを捉える

誰にも言わずに、家を出てきたのだ。(ア)とありますが、少年はなぜ家を出てきたのですか。次の□に字数の合った言葉を書きなさい。

課外活動の陸上競技に熱中しすぎて、成績がいくら下がってきたのを、母親に言われて、おもしろかったから。

3 かもめが空を飛ぶ

(3) 鳥の運命が次第に落ち、やがて崖から落ちるとき、少年の目に(涙)がにじみ、少年は、次第に降り、(砂浜)を定めて帰ろうと思ふ。(38)ページ(10)行(終わり)

2 場面ごとにあらすじをまとめて、小説の流れを押さえます。

1 主人公の少年は、(1)いつ(2)どこにいますか。次の□に字数の合った言葉を書きなさい。

(1) いつ……冬初めの、とんよりと曇った屋過ぎ

(2) どこ……海沿いに走る鈍行列車の片側の席

2 場面ごとにあらすじをまとめて、小説の流れを押さえます。

1 成績が下がってきたのを、(母親)に言われ、おもしろくない。少年は家を出て、行き当たりばったりの(列車)に乗った。(初め(37)ページ(1)行)

(2) 一羽の(かもめ)が列車と同じ(速度)で飛んでいるのを見つけ、少年は、頭張れと少年を立たせ、(37)ページ(2)行(38)ページ(9)行)